

入学前課題に取り組む意義 — 大学における学びに必要な力を身につけるために —

入学前教育で皆さんのが取り組む読解や要約は、大学における学びに直結しています。大学では、研究論文・調査報告・事例記録・各種の法令など、長く専門的な文章を正確に読み取り、要点を整理し、自分の言葉で説明する力が不可欠です。また、他者の言葉や行動の「背景」や「要因」、そして「感情」や「思考」を読み取る能力も求められます。

今回の課題は、物語を丁寧に読み、登場人物の背景や心の動きを理解し、必要な情報を取捨選択してまとめる練習です。これは、大学において求められる次のような基礎力を身につける大切なステップとなります。

◆この課題で身につく3つの基礎力

1. 文章の要点をつかむ力（読解力）

専門的な文章の中から大事な情報を選び取り、構造を理解する力です。大学での授業・論文や各文章の読解において欠かせない基本能力となります。

2. 心の動きを読み取る力（他者理解力）

物語の登場人物の背景や行動の要因に沿って、感情や思考を推測することは、人の行動や心の内を推し量る力の形成につながります。

3. 情報を整理し、簡潔にまとめる力（要約力・説明力）

学科における「福祉分野」「臨床工学分野」「社会スポーツ分野」では、多くの資料を扱うため、内容をまとめて伝える力が求められます。レポート作成や発表でも役立つ重要なスキルです。1年生前期に開講される「基礎ゼミナールⅠ」でも、この力の育成に取り組みます。

大学の学びをスムーズに始めるための準備として、ぜひ主体的に取り組んでください。